

TOREX IR REPORT VOL.1

第20期 中間報告書 2014.4.1 > 2014.9.30



特集

TOREXをひもとく 5つのクエスチョン

TOREXをもっと知っていただくために、
みなさまのご質問に当社社員がお答えします。

CONTENTS

- P1 当社の沿革と売上高の推移
- P2 TOREXをひもとく5つのクエスチョン
- P11 トップメッセージ
- P13 財務ハイライト
- P14 会社情報・株式情報・株主メモ
- 裏表紙 About TOREX Vol.1 マネジメントチームのご紹介

TOIREX

トレックス・セミコンダクター

証券コード 6616

わたしたちは、トレックス・セミコンダクターです。

当社は設立以来、電源IC、アナログICに特化して開発・製造を行ってきた専門集団です。独自の技術で超小型・省電力を実現した電源ICを提供し、専門メーカーならではのノウハウと柔軟性を活かし、絶え間なく進化する電子機器の開発ニーズにいち早く対応してきました。先進の技術力、高度なマーケティング力、積極的な環境対応で、TOREXはこれからも電源ICの未来をリードしていきます。

当社の沿革と売上高の推移

(単位:百万円)



中期経営計画目標
2017年3月期

売上高 **12,000**百万円強
営業利益 **2,000**百万円強

2014年4月
JASDAQ市場
スタンダード上場

9,900
(予想)

4,765
2015年
第2四半期
(連結)

業績についての詳細は
P.13へ

2015年
3月期
(連結/予想)

2017年
3月期
(連結/目標)

TOREXをひもとく

5つの クエスチョン

当社は2014年4月8日にJASDAQ市場スタンダードに上場をいたしました。これもひとえに、みなさまのご支援、ご指導の賜物と心から感謝申し上げます。今回は当社をより深くご理解いただくため、みなさまからよくいただくご質問にお答えします。

代表取締役社長 藤阪 知之



Q1 電源IC って何ですか?

電気機器の「心臓」の役割を担っています。
第一ビジネスユニット 中嶋

Q2 強み を教えてください。

アナログ技術のプロ集団を有しています。
事業統括グループ 堂埜

Q3 市場 の状況はどうですか?

4兆円規模の市場が現在も成長中です。
営業部 中村

Q4 海外展開 について教えてください。

各地域の相互連携による営業強化を図ります。
第二ビジネスユニット 趙

Q5 V-Plan (ブイプラン) について、何ですか?

全社一丸となって推進する中期経営計画です。
代表取締役社長 藤阪

次ページより
それぞれのご質問について、
詳細にご説明します。



Q1 電源ICって何ですか？



A 電気機器の「心臓」の役割を担っています。

電気機器の小型化・省電力に必要な不可欠な存在として、世の中を支えています。TOREXはCMOSプロセス採用のアナログ電源ICを約20年前に事業化した先駆者。専門として培ってきた技術があります。

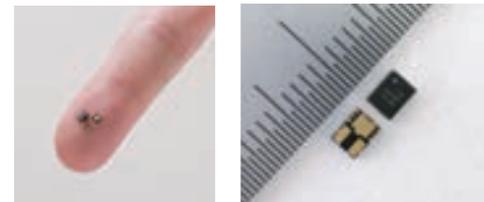
第一ビジネスユニット **中島**

TOREXは、超小型・省電力電源ICの専門集団です。

私たちは、アナログ電源ICを主力とする半導体部品の専門メーカーです。電源ICは、電子回路の中の電圧を制御し、安定的に供給する部品です。言わば電気機器の「心臓」の役割を担うものです。

今から約20年前、ソニーがニッケル水素電池1本で駆動する携帯オーディオ機器「ウォークマン」を開発する際、当社がCMOSプロセスで作った電源ICが採用され、そこから事業がスタートしました。低電圧・低消費電力のアナログ電源IC分野では、世界で最も歴史があると自負しています。

その後、多くの電気機器の小型化に対応し、事業を拡大してきました。回路の提案力と超小型化技術を武器に、さらなる成長を目指します。

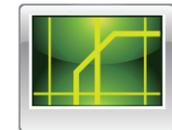


“micro DC/DC” XCLシリーズ。コイルと制御ICを一体化した超小型DC/DCコンバータ。

TOREXのビジネスフィールド ～こんなところで使われています～

Car Products

- カーナビゲーション
- バックビューモニター用カメラ
- ドライブレコーダー用カメラ
- ETC車載用



Industrial

- 産業用ロボット
- スマートメーター
- POS端末
- 複合機



Mobile Devices

- デジタルカメラ
- 電子辞書
- ICレコーダー
- PC周辺機器



Medical

- AED
- 内視鏡
- 血圧計
- 血糖値測定器



Home Products

- 液晶テレビ
- LED照明
- 家庭用ゲーム機
- 美容機器



用語解説

CMOS

CMOS (Complementary MOS、相補型MOS) とは、MOS構造(金属と半導体の間に薄い酸化膜をはさんだ構造)のP型トランジスタとN型トランジスタを組み合わせたもの。

Point 当社の主力製品

2014年3月期売上高構成比

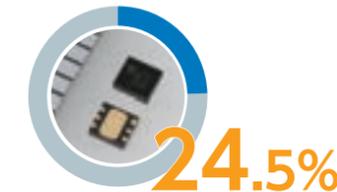
VR (Voltage Regulator) : 電圧レギュレータ

出力電圧を常に監視し、出力が一定電圧になるように制御するIC。当社では正電圧レギュレータ、負電圧レギュレータ、電圧検出器機能を備えた正電圧レギュレータを揃えている。



DC/DC (DC/DC Converter)

非常に効果的に電圧を希望値に変換して出力するIC。出力電圧を上げる昇圧型、下げる降圧型、双方に対応した昇降圧型、多ch型の4種を用意している。また、出力電圧のコントロールに優れ、効率が良好なタイプ、低消費電流で電池にやさしいタイプ、そして双方の良さを取り入れたタイプの3タイプを用意し、お客さまの各種要求に答えている。



VD (Voltage Detector) : 電圧検出器

入力電圧を常に監視して、入力が設定された検出電圧以下になったときにアラームを出す役割をするIC。電池を保護する役割もある。



Pick Up

ウェアラブルデバイスとは

ウェアラブルデバイスとは腕時計型やメガネ型など、直接身に付けられるほど小さいコンピューターなどを指します。

常時電源を入れた状態で身に付ける事を前提として開発されていて、スマートフォンやタブレット端末に次ぐ「次世代のデバイス」と言われています。コンピューターの小型・軽量化やモバイルネット環境の普及、音声認識や画像認識・センサーなどの技術の発展により近年になって段々と実用化されてきました。

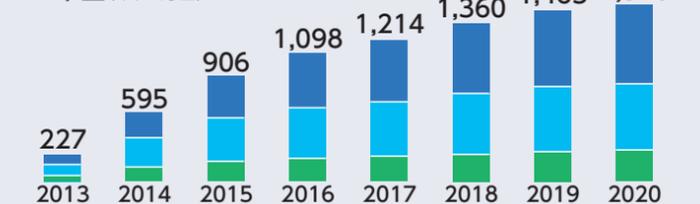
海外、特にアメリカ発の動きが活発化する中で日本でも大手の電機メーカーが次々にウェアラブルデバイスへの参入を発表し、日本のウェアラブルデバイスの市場規模は今後急速に拡大すると予想されます。

ウェアラブルデバイスの市場予測

▶日本(単位:万台)



▶米国(単位:万台)



■メガネ型 ■腕時計・リストバンド型 ■その他(アクセサリ等)

出典:(株)MM総研 [東京・港]「日米におけるウェアラブル端末の市場展望」(2013年)

Q2 強みを教えてください。



A アナログ技術のプロ集団を有しています。

一人前になるまで10年以上と言われるアナログ専門技術者の厚い人材層が、TOREXの最大の強み。開発・製造・販売の三位一体による「アナログ・トリシエル」を実現しています。

事業統括グループ **堂塾**

三位一体のソリューションサービスを提供しています。

開発

アナログ電源ICに特化した技術力

電源ICの開発を続けて来た高い技術力と豊富な経験を持った回路設計エンジニアを中心にプロセスエンジニア、パッケージ技術エンジニアが協力し、先進技術の電源IC開発を進めています。

製造

ファブレスのメリットを活かすライン選定力

委託先との緊密な協業体制によるファブレス生産が中心。設備投資コストを負うことなく、製品ごとに最適なラインを選択できる柔軟性を発揮しています。

販売

プロフェッショナルな技術営業の提案力

電源回路を熟知した営業マンが、お客さまの製品に必要な回路を提案。高度な専門性でお客さまから高く評価されています。

前工程

設備投資が不要な委託生産

ファブレス

シリコン基板に回路を作り込む工程です。多額な設備投資によるリスクを回避しながら、製品ごとに最適なプロセスを選定し生産することができるファブレス生産を行っています。

後工程

高度な技術に対応できる自社生産

自社所有工場

作り込んだ回路をパッケージに封入する工程です。高度なパッケージ技術に対応できる自社工場を所有し、製品の品質と安定供給を確保しています。当社独自技術による「USP」の自社生産比率は、後工程全体の約15%です。



Point プロフェッショナルを体現する取り組み

プロセス技術の資産化

委託先工場の製造設備の能力に依存することなく、TOREXの電源IC設計技術で実現可能な電源変換効率等の特性を最大限発揮できるよう、最新の製造プロセス技術を吸収し、社内の開発工程に反映させるプロセスエンジニアを多数有しています。

独自パッケージ技術の追求

当社独自の技術で高放熱機能を持った「超小型・薄型」のパッケージ、USP (Ultra Small Package) を開発。この技術で特許を取得しており、今後更なる小型・薄型化を目指します。

回路技術の研鑽

市場の動向に合わせた製品の開発は勿論、お客さまの製品回路に合わせた製品の開発にも力を入れ、日々顧客のニーズに合う新しい回路設計の研究、提案を続けています。

積極的な環境対応

国際社会が使用を禁止している環境に有害な物質をまとめた独自のリストを利用し、外注工場を選別。環境に優しい製品作りに取り組んでいます。

Pick Up

ベトナム工場のご紹介



VIETNAM SEIBI SEMICONDUCTOR CO.,LTD
20 VSIP II Street 6, Vietnam-Singapore Industrial Park II (VSIP II), Binh Duong Industry-Service-Urban Complex, Hoa Phu Ward, Thu Dau Mot City, Binh Duong Province, Vietnam

前工程の自社生産は、数百億円規模の設備投資を要しますが、後工程の設備投資は、当社が出資可能な範囲にあり、後工程工場を自社保有することで、さらなる技術の研鑽が期待できます。こうした考えのもと、当社は2009年よりVIETNAM SEIBI SEMICONDUCTOR CO.,LTDへの出資を開始し、独自技術「USP」に特化した生産拠点をベトナムに確保しました。

ベトナム工場は現在、従業員約120名を擁し、月産4,000万個の生産能力を保持しています。今後、DC/DCコンバータ新製品の生産増強に向けて、生産設備を増強していく予定です。



ベトナム工場
LE ANH VU

Q3 市場の状況はどうですか？



A 4兆円規模の市場が現在も成長中です。

全体で4兆円規模のアナログ半導体市場、8,500億円規模のアナログ電源IC市場が、いずれも高い成長率を維持しており、今後の当社のシェア拡大余地も極めて大きなものがあります。

営業部 中村

様々な機器の電子化進展と歩調を合わせ、安定的な拡大基調にあります。

一般に半導体関連業界は、景気の変動に大きな影響を受けるものと認識されていますが、当社が属するアナログ半導体市場は、全体で4兆円(2013年時点)の規模を有し、年6.2%の成長率で現在も拡大基調にあります。さらにその市場の中で、当社事業が直接かわるアナログ電源IC市場は特に成長性が高く、市場規模8,500億円(2013年時点)、年平均6.6%の成長率を維持しています。その中で当社が占めるシェアは、約1%に過ぎず、極めて大きな拡大余地があります。

当社は、デジタル家電等のコモディティ化が進んだ分野から、高品質・高付加価値が重視される分野にシフトし、車載機器や産業機器関連等への営業展開を進めています。また、今後の成長が期待されるウェアラブル分野においても、超小型パッケージング技術を武器に積極展開を図ります。

アナログ電源IC市場規模の年次推移(単位:百万ドル)



出典: IHS Global株式会社調べ(2014年)

Q4 海外展開について教えてください。



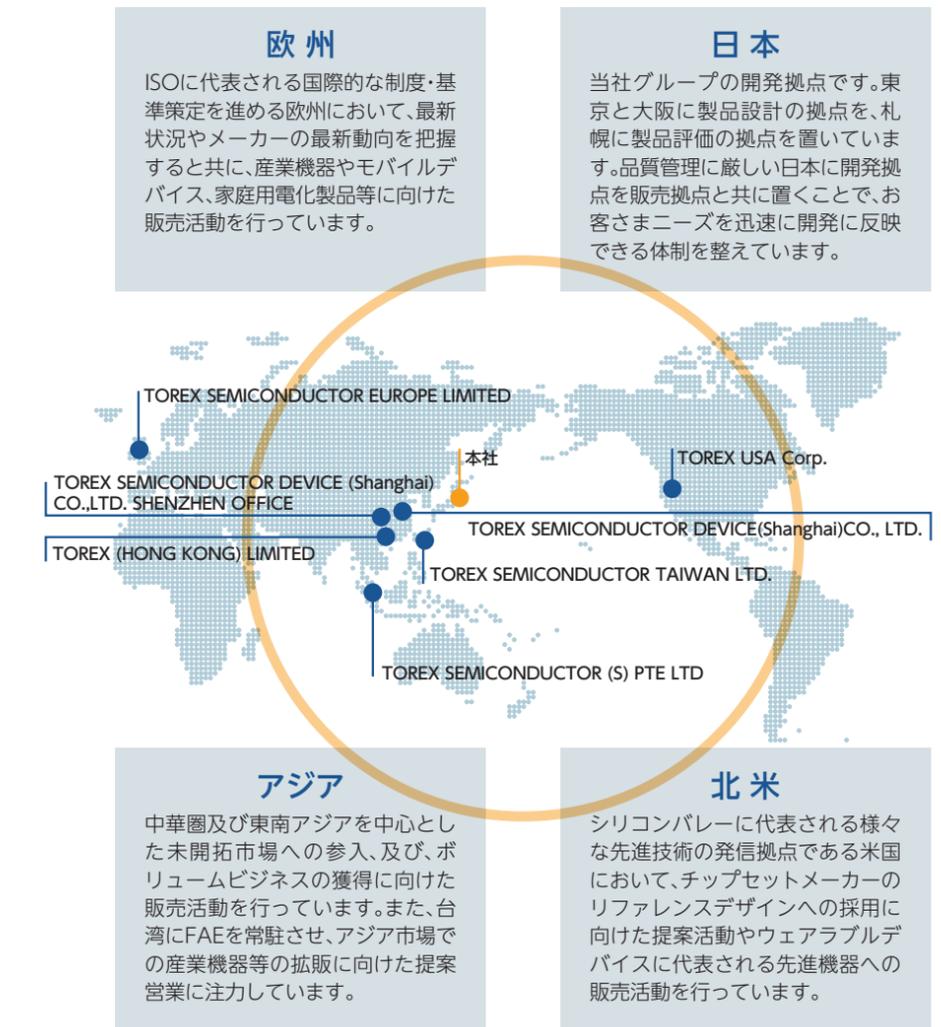
A 各地域の相互連携による営業強化を図ります。

注力分野である車載・産業機器・ウェアラブルの市場成長を捉えるべく、各地域における営業展開を相互連携。また、デザイン・イン採用の獲得に向け、提案力を高めていきます。

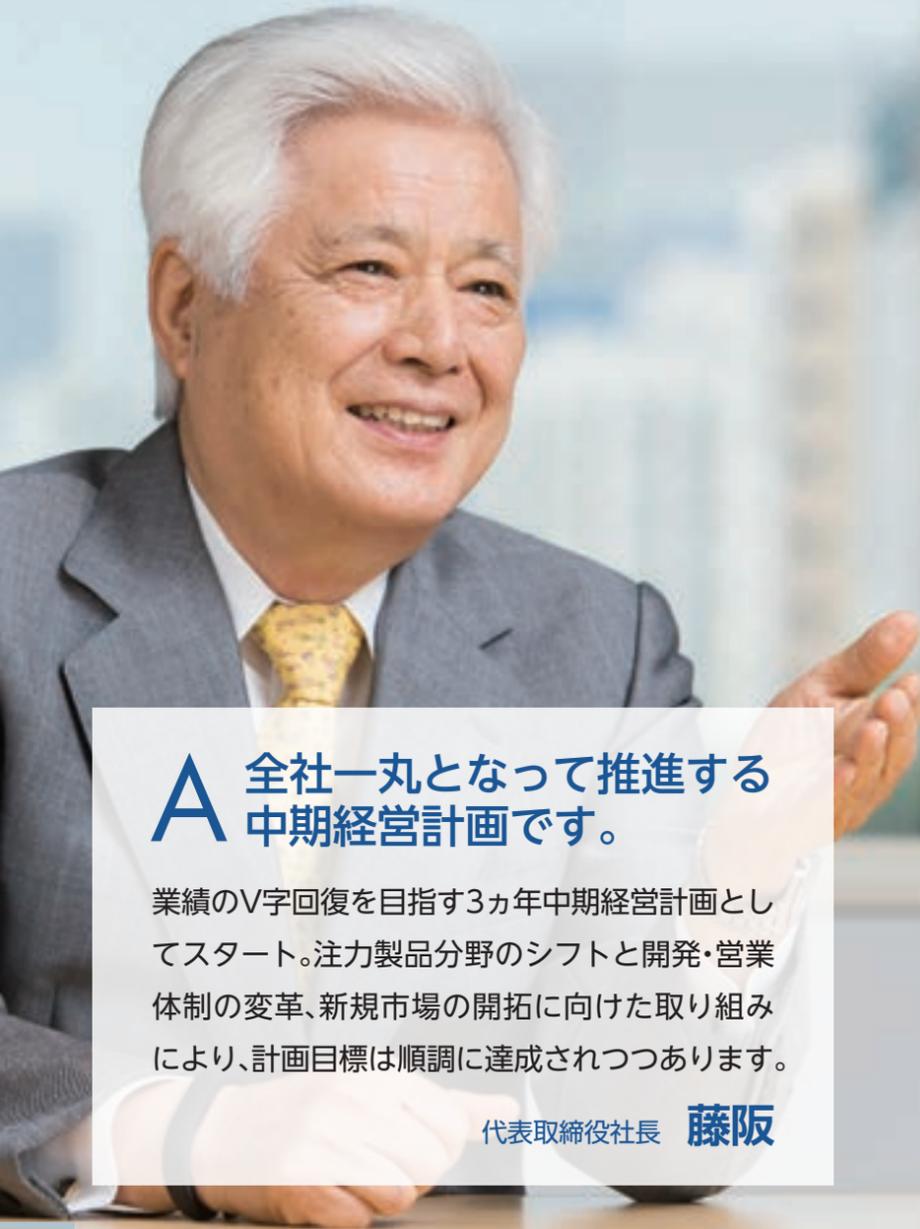
第二ビジネスユニット 趙

グローバルな販売拡大を4極展開で推進していきます。

日本国内及びアジア・欧州・北米の4地域で、各販売拠点が相互に連携するネットワーク体制を築き、国内顧客の海外生産シフトへの対応を強化しつつ、現地マーケットの開拓を進めています。



Q5 V-Plan(ブイプラン)って、何ですか？



A 全社一丸となって推進する中期経営計画です。

業績のV字回復を目指す3か年中期経営計画としてスタート。注力製品分野のシフトと開発・営業体制の変革、新規市場の開拓に向けた取り組みにより、計画目標は順調に達成されつつあります。

代表取締役社長 **藤阪**

営業利益目標を前倒しで達成、V字回復を果たしました。

2013年3月期より始動した3か年中期経営計画[V-Plan]は、リーマンショック以降、急速に悪化した業績を立て直し、新たな成長性を確保するために策定されました。

注力製品分野を、コモディティ化が進んだデジタル家電等から車載・産業機器等へシフトすることで収益性を高めると共に、回路設計の提案力と超小型化技術を活かした開発・営業体制への変革と、新規市場の開拓に向けた取り組みにより、[V-Plan]は順調に進捗しています。定量目標に掲げた営業利益10億円は、1年前倒しで2014年3月期に達成し、業績のV字回復を果たしました。引き続き安定成長と高収益体質の確立に向けて、V-Planの各種施策を継続するとともに、足下の実績を踏まえつつ、3年間の中期経営目標を毎年度更新、設定しています。

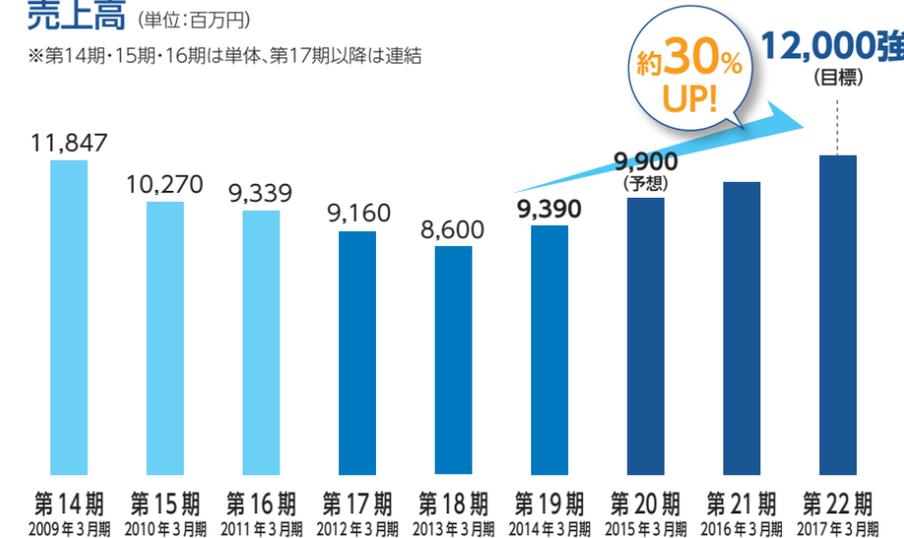
V-Plan(中期経営計画)3つのポイント

- 注力製品分野のシフト**
利益率の改善、売上の安定化を実現すべく、価格競争が激しい民生機器から車載・産業機器などの高収益をあげられる製品分野へ経営資源をシフト。新分野攻略製品の開発を早急に推進。
- 開発・営業体制の変革**
TOREXのアナログ技術は世界でもトップクラス。また、お客様の回路設計まで踏み込んで提案できる営業体制は、日本国内において海外メーカーにはないTOREXの大きな強み。我々の強みをお客さまに見える形で提供できる仕組みを構築するため、ビジネスユニット制へ移行。
- 新規市場の開拓 目線の転換**
注力製品分野のシフトに合わせ、これまで以上にお客さま目線での製品開発、営業展開を推進し付加価値向上を実現。また、今後の大きな成長が期待されるセンサー製品の市場投入を早急に進める。

中期経営計画目標

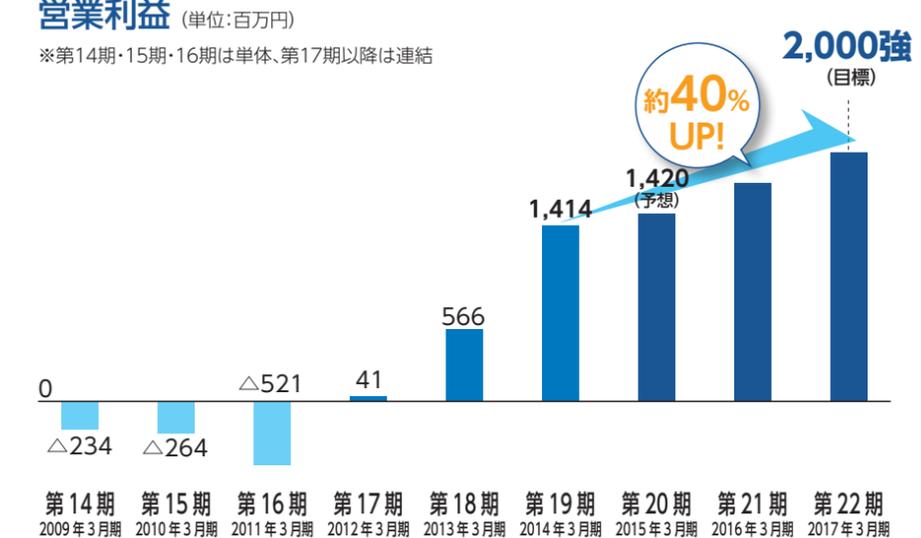
売上高 (単位:百万円)

※第14期・15期・16期は単体、第17期以降は連結



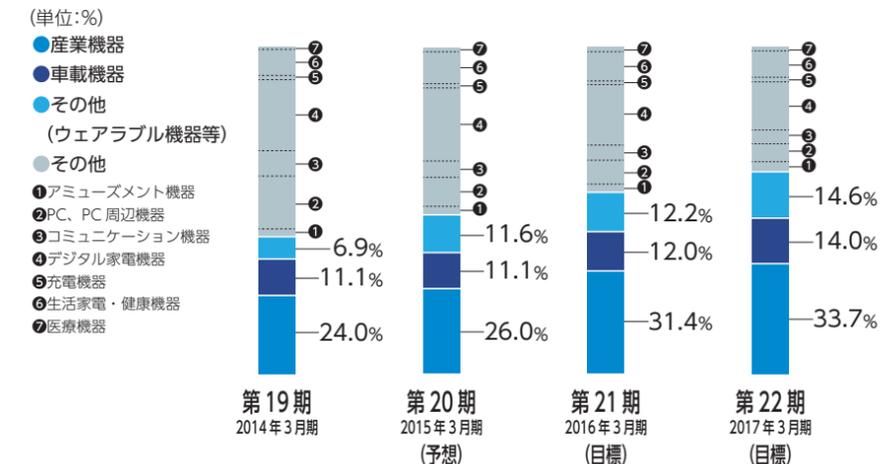
営業利益 (単位:百万円)

※第14期・15期・16期は単体、第17期以降は連結



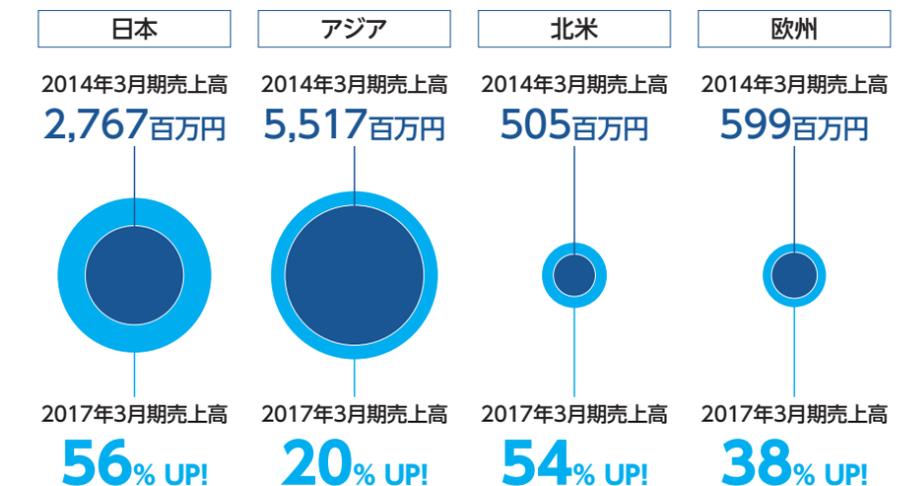
主要アプリケーション別売上拡大計画

高収益が期待できる産業機器、車載機器、これから拡大が予想されるウェアラブル機器を中心に売上拡大を目指します。



セグメント別売上拡大計画

デザイン・イン、リファランスデザインへの採用に向けて欧米での提案力を強化し、売上拡大を目指します。





代表取締役社長
藤 阪 知 之

「日本で活躍する元気な半導体メーカー」というビジョンを具現化していきます。

「V-Plan」による業績回復と再成長

株主のみなさまにおかれましては、日頃より当社事業へのご理解とともに厚いご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

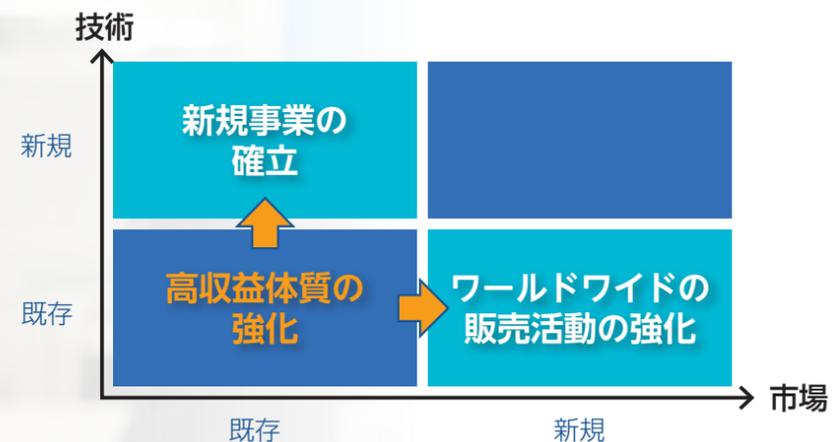
2014年4月8日より、東京証券取引所JASDAQ市場スタンダードに上場させていただき、7ヵ月余りが経過しました。おかげさまで当社は、前々年度より始動した中期経営計画「V-Plan」に基づく取り組みを順調に進めており、業績回復と再成長路線への転換を果たしつつあります。

「V-Plan」の最終年度である今年度は、来年度から始まる新たな中期計画を策定中であります。引き続き、当社の強みである電源回路の提案力と超小型化パッケージ技術を活かせる、付加価値の高い製品分野へのシフトをさらに進め、これをグローバルに展開していくことで、安定成長と高収益を実現してまいります。

中長期の成長に向けて当社が目指す姿

当社は現在、車載システム分野や産業機器分野における販売を拡大すべく、これらに対応する中高耐圧の製品開発を強化しています。車載関連や産業機器関連のお客さま企業においては、電源回路に関する豊富な知見に基づいた当社の提案力は大きな強みとなります。

もう一つの重点ターゲットとなるのが、その可能性と市場の広がりが期待され、近年大きな話題を集めているウェアラブル分野です。当社の独自技術「USP」による部品の小型化や、低消費電力化が大きな優位性とな



る領域です。中でも当社は、特にヘルスケアやGPS関連のニーズを捉えたアプローチを進めつつ、「USP」製品の供給体制を強化すべく、ベトナム工場の生産増強を図っていきます。

一方、グローバルな販売展開の拡大については、2014年5月に米国の世界的なパワー半導体メーカー、IXYS Corporationとの相互販売提携契約を締結しました。今後、IXYS社の直販及び代理店販売網を通じて、当社製品を欧米市場に拡販していく予定です。

これからの当社は、毎年の売上高成長率10%の安定成長と、営業利益率20%の高収益体質の強化を中長期的な目標に掲げ、持続的に発展する企業を目指してまいります。その事業基盤を確立するために、当期は先行投資を進めています。

NEWS

IXYS Corporationとの業務提携

欧米を中心に世界的なパワー半導体メーカーのパイオニアとして、30年以上の歴史を有するIXYS Corporationと相互販売提携契約を締結しました。



当社はIXYS社の製品の日本市場におけるマーケティング及び販売を行い、IXYS社は当社製品をIXYS社の直販及び代理店の販売網を使って欧米市場を中心に販売します。各々の強みを持ち寄ることによってビジネス拡大の可能性を広げるという展望を共有し、その実現のためシナジーを最大限追求していきます。

株主のみなさまにお伝えしたいこと

当期は、第2四半期末配当として、上場記念配当1株当たり10円を含めた同50円を実施させていただきました。期末配当につきましても、同額の実施を予定しております。今後の利益還元方針としては、配当性向20%以上を基本に、業績に連動した配当を実施していく考えです。

当社は技術力を武器に、高い信頼性によるブランド力を築き、「日本で活躍する元気な半導体メーカー」というビジョンを具現化したいと考えております。株主のみなさまにおかれましては、将来の当社事業の発展にご期待いただき、変わらぬご支援をお願い申し上げます。

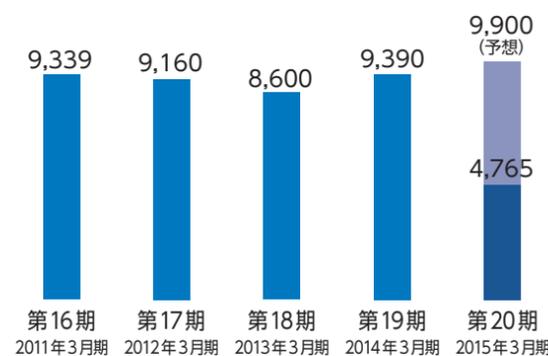
NEWS

財務ハイライト

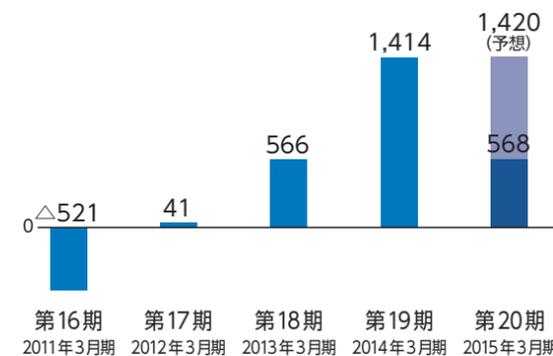
		第16期(単体)	第17期(連結)	第18期(連結)	第19期(連結)	第20期(連結)	
		2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期 第2四半期(累計)	通期(予想)
売上高	(千円)	9,339,983	9,160,697	8,600,216	9,390,563	4,765,632	9,900,000
営業利益又は営業損失(△)	(千円)	△521,054	41,388	566,961	1,414,441	568,832	1,420,000
売上高営業利益率	(%)	△5.6	0.3	5.0	14.4	11.9	-
経常利益又は経常損失(△)	(千円)	△465,862	3,890	444,529	1,339,126	662,946	1,500,000
当期純利益又は当期純損失(△)	(千円)	△849,974	△129,324	191,758	1,357,052	425,709	1,100,000
総資産額	(千円)	9,601,958	10,285,690	10,566,799	10,800,641	12,030,744	-
純資産額	(千円)	5,582,980	6,068,550	6,406,442	7,904,745	9,972,230	-
自己資本比率	(%)	58.1	58.7	60.3	72.9	82.6	-
自己資本利益率(ROE)	(%)	-	-	3.1	19.1	4.5	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	-	484,118	1,076,134	1,437,619	703,631	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	-	△275,714	△283,334	△189,566	480,232	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	-	△111,431	△39,973	△1,237,502	445,578	-
現金及び現金同等物の期末残高	(千円)	-	4,457,908	5,398,694	5,556,025	6,361,932	-
1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額(△)	(円)	△37,082.79	△56.42	83.66	592.05	161.77	416.79
1株当たり純資産額	(円)	243,574.90	2,636.22	2,781.40	3,433.14	3,754.87	-
1株当たり配当額	(円)	-	-	1,500	40	50	50
配当性向	(%)	-	-	26.5	7.5	31.1	24.0

1. 売上高には、消費税等は含まれておりません。 2. 当社は第17期より連結財務諸表を作成しております。 3. 第16期、第17期の自己資本利益率については、当期純損失が計上されているため、記載しておりません。

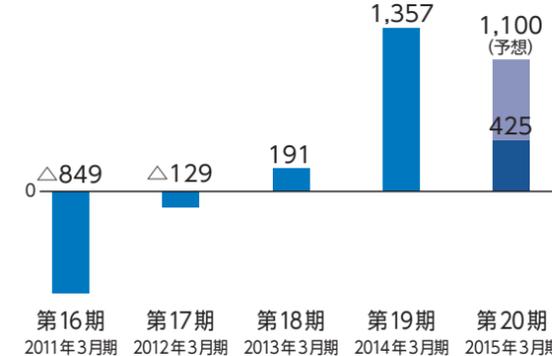
売上高(単位:百万円)



営業利益(単位:百万円)



当期純利益(単位:百万円)



■ 通期 ■ 当第2四半期(累計) ■ 予想 ※第16期は単体、第17期以降は連結

会社情報(2014年9月30日現在)

会社概要	
社名	トレックス・セミコンダクター株式会社
所在地	東京都中央区新川1-24-1 秀和第2新川ビル3F
設立	平成7年(1995年)3月
資本金	17億9,457万円
事業内容	1.半導体デバイスの開発、設計製造 2.半導体デバイスの販売
従業員数	351名

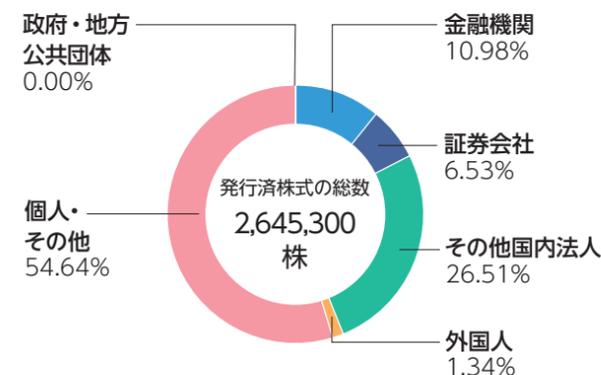
役員一覧

代表取締役社長	藤 阪 知 之
専務取締役	芝 宮 孝 司
常務取締役	木 村 浩
取締役	吉 田 國太朗
取締役	吉 田 宝
取締役	日 笠 基
取締役	小 松 照
常勤監査役	池 田 耕太郎
監査役	川 俣 尚 高
監査役	清 水 満 昭

株式情報(2014年9月30日現在)

株式の状況	
発行可能株式総数	9,168,400 株
発行済株式の総数	2,645,300 株
株主数	2,649 名

所有者別株式分布



大株主(上位10名)

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
フェニテック セミコンダクター株式会社	440	16.63
尾崎 正晴	169	6.42
藤阪 知之	123	4.66
アルス株式会社	113	4.27
株式会社中国銀行	110	4.16
芝宮 孝司	71	2.71
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	61	2.31
日本証券金融株式会社	58	2.22
株式会社SBI証券	51	1.94
木村 浩	46	1.74

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎事業年度終了後3ヶ月以内
株主確定基準日	3月31日
期末配当金株主確定日	3月31日
中間配当金株主確定日	9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内 一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
事務取扱場所	東京都千代田区丸の内 一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先)
〒168-0063
東京都杉並区和泉2丁目8番4号
(連絡先)
0120-782-031

当社の公告方法は、電子公告としております。
ただし事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載しております。

当社の公告掲載URLは次の通りです。
<http://www.torex.co.jp/japanese/>

About TOREX

TOREXにまつわる色々なことをご紹介します。

アバウト・トレックス Vol.1

マネジメントチームのご紹介

当社の取締役会はグループ経営における、法定事項及び重要な業務執行等、重要事項の意思決定を行うとともに、取締役の職務執行を監督しています。今回は取締役会を構成する取締役7名(1名は社外取締役)をご紹介します。



代表取締役社長 **藤阪 知之**

世界と勝負！



専務取締役 **芝宮 孝司**

全てはお客様のために



常務取締役 **木村 浩**

技術こそが生きる道



取締役 **吉田 國太郎**

人を動かす



取締役 **吉田 宝**

品質はTOREXの生命線



取締役 **日笠 基**

数を読み、人を編む



社外取締役 **小松 熙**

遵法・自治！

当社の最新情報は
WEBサイトでご覧いただけます。

<http://www.torex.co.jp/>

トレックス・セミコンダクター



トップページ

<http://ir.torex.co.jp/ja/Top.html>



IR情報

トレックス・セミコンダクター株式会社
〒104-0033 東京都中央区新川1-24-1
秀和第2新川ビル3F
TEL (03)6222-2851



見やすく読みまちがえにくいユニバーサル
デザインフォントを採用しています。



環境に配慮した植物油
インキを使用しています。

